

Unified CallManager サーバ：優れたミラー ディスクの入手

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[バックアップ手順](#)

[MCS-7845-I1 CallManager サーバ](#)

[MCS-7835-I1 CallManager サーバ](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco メディア コンバージェンス サーバ (MCS) -7835-I1 環境または MCS-7845-I1 環境における業務の運用を損なうことなく、実稼働環境から完全に動作可能なディスク セットをシスコの開発技術部門に確実に提供する方法について説明します。

注: この手順に進む前に、ターゲット Cisco CallManager システムの完全なバックアップを実行してください。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Unified CallManager
- Cisco MCS

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified CallManager
- Cisco MCS-7835
- Cisco MCS-7845

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始して

います。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

バックアップ手順

常にパブリッシャから開始し、サーバを1つずつバックアップします。最初に、パブリッシャに使用するサーバのタイプに対応した正しいドライブ取り外し手順を実行し、次にサブスライバを1つずつ取り外します。

たとえばパブリッシャが MCS-7845 であり、サブスライバが MCS-7835 の場合、パブリッシャでのみ MCS-7845 のディスク取り外し手順に従い、その後サブスライバで MCS-7835 のディスク取り外し手順に従います。

MCS-7845-I1 CallManager サーバ

MCS-7845-I1 サーバには 2 つの個別の RAID (冗長ディスク アレイ) アレイがあります。

- スロット 0 に 1 つのディスク (RAID アレイ A)
- スロット 1 に 1 つのディスク (RAID アレイ A)
- スロット 2 に 1 つのディスク (RAID アレイ B)
- スロット 3 に 1 つのディスク (RAID アレイ B)

次の手順を実行します。最初にパブリッシャで、その後サブスライバで次の手順を繰り返します。次の手順では、フォールバックシナリオが適切であることを確認するため、続行する前にフォールバックおよびアップグレードドライブを確認します。

1. 各ドライブに、サーバ名とドライブがマウントされているドライブ スロット番号をラベルとして指定します。
2. サーバを適切にシャットダウンします。
3. 各 RAID アレイから 1 つのドライブを一時的に取り外します (これ以降、これらのドライブは 0 および 2 と呼ばれます)。それ以外の 2 つのドライブをそれぞれのドライブ スロットに装着したままにします。
4. サーバを起動し、HDD を復元するよう求められたら F5 を選択します。
5. Windows が完全に起動したことを確認します。
6. サーバを適切にシャットダウンします。
7. 元のドライブ 0 と 2 を再び挿入します。この時点では交換ディスクを使用しないでください。
8. テストしたドライブ (これ以降、ドライブ 1 および 3 と呼ばれます) を各 RAID アレイから完全に取り外します。各ディスクのラベルとして、取り外したスロットの番号 (スロット 1 と 3) とサーバ名を指定してください。
9. サーバを起動し、HDD を復元するよう求められたら F5 を選択します。
10. Windows が完全に起動したことを確認します。
11. ドライブ スロット 1 とドライブ スロット 3 に新しい交換ディスクを挿入します。

MCS-7835-I1 CallManager サーバ

MCS-7835-I1 サーバの RAID アレイは 1 台だけです。

- スロット 0 に 1 つのディスク (RAID アレイ A)
- スロット 1 に 1 つのディスク (RAID アレイ A)

次の手順を実行します。最初にパブリッシャで、その後サブスクライバで次の手順を繰り返します。次の手順では、フォールバックシナリオが適切であることを確認するため、続行する前にフォールバックおよびアップグレードドライブを確認します。

1. 各ドライブに、サーバ名とドライブがマウントされているドライブ スロット番号をラベルとして指定します。
2. サーバを適切にシャットダウンします。
3. RAID アレイから下部のドライブ (これ以降ドライブ 0 と呼ばれます) を一時的に取り外します。ドライブ スロットのもう 1 つのドライブは装着したままにします。
4. サーバを起動し、HDD を復元するよう求められたら F5 を選択します。
5. Windows が完全に起動したことを確認します。
6. サーバを適切にシャットダウンします。
7. 元のドライブ 0 を再び挿入します。この時点では交換ディスクを使用しないでください。
8. テストしたドライブ (これ以降、ドライブ 1 と呼ばれます) を RAID アレイから完全に取り外します。このディスクのラベルとして、取り外したスロットの番号 (スロット 1) とサーバ名を指定します。
9. サーバを起動し、HDD を復元するよう求められたら F5 を選択します。
10. Windows が完全に起動したことを確認します。
11. ドライブ スロット 1 に新しい交換ディスクを挿入します。

関連情報

- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)